

衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第2区)

選挙公報

平成29年10月22日執行
秋田県選挙管理委員会

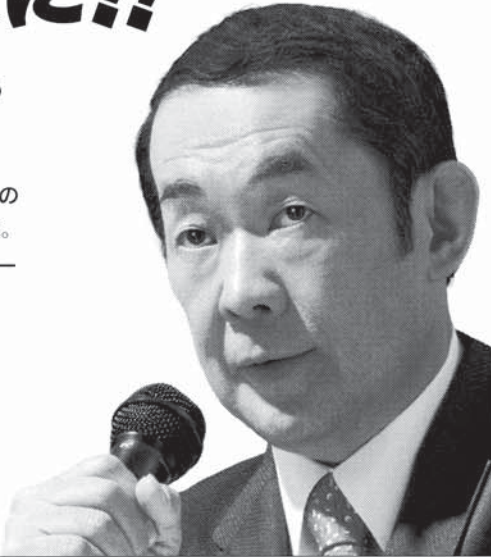
あなたの思いを国政に!!

1 国民の皆さんの安心と安全のために。

緊迫した情勢の北朝鮮などへの対応のため、戦略的外交と安全保障のさらなる強化により、日本に暮らす人たちの生命と財産を守ります。国際犯罪が増加する中、重要な法整備を行い、国際組織犯罪防止条約に188番目の国として加盟できたほか、性犯罪の厳罰化などを刑法制定以来110年ぶりに実現。

2 秋田が抱える課題と皆さんの暮らしの安心のために。

社会保障…全世代に対応した、安心できる持続可能な社会保障の実現。
農業…秋田の基幹産業であり、農家所得の確保と経営の安定を図ります。
経済とインフラ…景気回復を地方まで徹底し、強い経済を再生します。
地方創生…再生可能エネルギーなど秋田の伝統と持ち味を最大限に活用します。



秋田ならではの『しなり強さ』で、『未来への責任』をしっかりと果たす覚悟。
衆議院選挙は政権選択の選挙です。外交・安全保障や経済・社会保障といった内外に課題が山積する中、この国を守る政党はどこのか、秋田が抱える課題を解決できる議員は誰なのか、それを選ぶのが今回の選挙です。
野党が持つ政権についていた民主党政権の時代を思い出して下さい。彼らは、実現不可能な公約を掲げ、ブレる政治をくり返し、政権を担う能力の無さを露呈しておりました。今なお、自身のための離合集散を繰り返し、国益を考えずに政権与野を批判しつづけています。
そのような政党に日本の将来は任せられません。
私たちは、これまで数多くの課題に直面してきましたが、常に誠実に、そして全力で取り組み、実績を着実に積み重ねて参りました。
引き続き、私たちは皆様とともに、『未来への責任』を果たすべく、頑張り続けてまいります。



自由民主党公認
かねだ 勝年 かつとし

かねだ勝年のこれまでの歩み

●平成7年7月～大蔵主計官として役所の予算を数多く担当した立場から秋田に設立つべく、参議院議員に立候補し当選(2期12年)。この間、農林水産政務次官、厚生労働委員長、外務副大臣等。
●平成21年8月～衆議院議員に当選(秋田2区、3期9年)。予算委員会理事、財務金融委員長、自民党人

事委員長、政調副会長、総務副会長。このほか、秋田県連会長、東北両院議員会幹事長(現在会長代行)、地方創生副本部長、国土強靱化副調査会長、日本海沿岸議員連盟・生活衛生議員連盟の各世話人。
●平成28年8月～法務大臣として入閣。
●平成29年8月～自民党幹事長代理に就任。

プロフィール

父が鹿角市花輪交番所から潟上市大久保交番所に勤務の昭和24年10月4日生まれ。秋田高校、一橋大学卒。現在、能代市在住。家族、妻・長男。

[かねだ勝年選挙事務所]

〒016-0843 能代市中和1-16-2
TEL/0185-54-3000 FAX/0185-54-6751
自民党秋田県小選挙区選挙事務所
〒017-0846 大館市有浦4丁目9-32
TEL/0186-42-7026 FAX/0186-42-6642

市民+野党
力あわせ、
未来ひらく。

比例代表は
日本共産党
とお書きください。個人名は無効です。

反核・日本
唯一の戦争被爆国・日本でこそ核兵器禁止条約にサインを
国連加盟国の3分の2が賛成した核兵器禁止条約。日本共産党は代表団を送った政党として、条約にサインする政府をめざします。

憲法9条
若者を戦場に送らない
9条を生かす平和外交を
憲法に自衛隊を明記したら、9条の命、2項の空文化し死文化です。変えるべきは憲法でなく、憲法をないがしろにする政治です。
●「9条を守れ」の思いを日本共産党に。

暮らしと経済
消費税増税は家計も経済もとん底に。
●1%の富裕層や空前の利益を続けている大企業に自分の負担を求める税制改革を。
●価格保障、所得補償で農業・農村の再生を。

北朝鮮問題
対話による平和的解決の
イニシアチブを
破壊をもたらす戦争は絶対におこしてはなりません。
●憲法9条をもつ日本こそ対話による事態の打開へ力をつくすべきです。

安倍暴走政治
国政の私物化——新しい国会で
疑惑の徹底追及を
安保法制、秘密保護法、共謀罪と「海外で戦争する国づくり」へ暴走を続ける安倍政権。その行き着いた果てが、「森友・加計疑惑」など国政私物化です。
●この選挙で安倍政権に退陣を。

「安倍政治を許すな、9条を守れ!」
いま、この声があふれています。
こんどの選挙は「自公とその補完勢力」
対「市民と野党の共闘」が浮き彫りになりました。
私は、立憲主義と平和主義の立場に立つ
野党と市民のみなさんと、力をあわせて全力
つきます。

●プロフィール
1979年、大館市生まれ、38歳。
大館鳳鳴高校、都留文科大学卒。
特許庁非常勤職員。
現：日本共産党准県委員、青年学生対策委員。
2015年4月、県選北秋田市・郡区立候補。
2016年7月、参議院比例代表選挙立候補。
北秋田市在住。



日本共産党
藤本 ゆり

日本共産党を大きく伸ばして 憲法とくらしをまもる政治を

すべては地域のために
政治刷新。
安倍政権で疲弊していく地域、歪められていく政治と行政。
政治は地域での安心できる暮らしのためにあります。
そんな当たり前を取り戻すために、政治刷新。

衆議院議員立候補者
緑川 みどりかわ たかし



社会の中心は国や企業ではなく「人」と考えます。
だからこそ、政策の対象は「人の暮らし」と考えます。

すべては地域のために。

- 子どもたちが健やかに育つ地域
教育の無償化や、児童扶養手当の拡充など、社会全体で子どもたちの育みを支援します。
- 高齢者が安心して暮らせる地域
最低保障機能の強化などの年金の抜本改革、医療・介護の自己負担軽減などに取り組みます。
- 安定して働ける地域
長時間労働を規制し、「同一価値労働同一賃金」、「全国どこでも誰でも時給1,000円以上」を実現します。
- 安定して続けられる農林漁業
農業者戸別所得補償制度の法制化・恒久化や、6次産業化の加速で地域を活性化します。
- 安心安全に暮らし続けられる地域
災害に強い国土づくりを進め、自助、共助、公助のバランスの取れた地域防災力の向上を実現します。

「当たり前」を取り戻す。

- 公平公正な政治を取り戻す
「忖度」、「総理の意向」。こうした恣意的な権力の行使に歯止めをかけ、公平公正な政治を取り戻します。
- 透明性を取り戻す
隠蔽体質が明らかになった安倍政権。情報公開を徹底し、政治行政の透明性を取り戻します。
- 国会議論を取り戻す
強行採決を連発した安倍政権。議論をとおり国民の理解を得ていく国会を取り戻します。
- 多様性を認め合う社会を取り戻す
安倍政権によるメディアへの圧力、権力による個人攻撃。多様性を認め合う社会を取り戻します。
- 政治・行政改革を取り戻す
「身を切る改革」という約束を反故にし続ける安倍政権。政治・行政改革を取り戻します。



緑川 たかし

衆議院小選挙区
選出議員選挙
(秋田県第2区)

選挙公報

平成29年10月22日執行
秋田県選挙管理委員会

第48回 衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

熱くなれ 未来を託す 一票に

投票日

10月22日

期日前/不在者投票

10月11日(水)

~10月21日(土)

なまはげめいすいくん

秋田県選挙管理委員会
秋田県明るい選挙推進協議会

秋田県選管 

